あいち病害虫情報 最新情報

令 和 ８ 年 １１ 月 １ ７ 日
愛 知 県 農 業 総 合 試 験 場
環境基盤研究部病害虫防除室

気温は高い見込み

名古屋地方気象台 11 月 12 日発表の１か月予報によると、向こう１か月の気温は高く、降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か少ない見込みです。

チョウ目害虫に注意

フェロモントラップにおけるチョウ目害虫の直近１か月の総誘殺数は、オオタバコガ及びハスモンヨトウでは平年に比べてやや多く、コナガでは平年並の状況です。また、シロイチモジヨトウについては、直近１か月の総誘殺数は平年に比べてやや多い状況ですが、10 月下旬以降の誘殺数は概ね減少傾向となっています。

これらチョウ目害虫は薬剤感受性が低下しやすいため、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。また、周辺ほ場への発生源とならないよう、収穫終了後は残さを速やかにすき込みましょう。施設への飛び込みにも注意しましょう。

ブロッコリー、キャベツの黒すす病

ブロッコリー、キャベツの黒すす病の発生が一部地域で広がっています。また、今後の降雨及び強風により発生がさらに拡大する可能性があります。病気の発生後は防除が困難となるため、病徴が進行した株は処分しましょう。なお、一部系統の殺菌剤に対する感受性が低い菌株を確認していることから、防除薬剤の選択は指導機関に相談しましょう。

果菜類の病害

10 月下旬のナスほ場での巡回調査において、すす斑病の発生葉率がやや多くなっています。施設を密閉して湿度が高まると、ナスすす斑病の他、ナスやトマトの灰色かび病などの病気の発生が多くなります。積極的に換気や送風を行い、多湿にならないようにしましょう。また、発病部位は速やかに取り除き、適切に処分しましょう。

クビアカツヤカミキリの発生地域が拡大しています

クビアカツヤカミキリの発生地域が拡大しています。厳寒期の幼虫は活動しませんが、フラスの出たあとがないか確認しましょう。クビアカツヤカミキリが疑われる被害を確認したら、お近くの農業改良普及課もしくは病害虫防除室に連絡をお願いします。

【キャベツ、ブロッコリー等のテンサイシストセンチュウ（Ｈｓ）まん延防止】
東三河地域の一部のキャベツほ場でＨｓの発生が確認されています。Ｈｓは農機具等に付着した土壌により移動します。作業後は、ほ場内で農機具等に付いた土をしっかり落とし、Ｈｓのまん延防止に努めてください。
また、坪状に生育不良が見られる等、Ｈｓの発生が疑われる場合は、最寄りの農業改良普及課もしくは農業総合試験場病害虫防除室へ御連絡をお願いします。

予察灯、フェロモントラップなどの各種調査データは、ウェブページ「あいち病害虫情報」（アドレス：https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/index.html）を参照してください。

問合せ先　愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除室
TEL 0561-41-9513　FAX 0561-63-7820